

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次
37304	介護概論 Care for the Elder & Handicapped	梶原 稚子	専門	2	選択	1・2年前期
科目の概要						
介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを学び、介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的な視点等を習得することによって、介護の講義の土台となります。特に、介護職に求められる専門性、職業倫理については理解を深められるようにします。 専門的知識・技能は主に感染、事故防止を習得していきます。						
学習・教育内容			達成目標			
① 利用者の尊厳ある暮らしを支える介護者の役割について学ぶ。 ② 介護職の専門性、職業倫理について学ぶ。 ③ 介護におけるリスク・対策について学ぶ。 ④ 自立支援・介護予防について学ぶ。			① 介護職の役割について考察することができる。 ② 介護職の専門性・職業倫理を説明することができる ③ 介護におけるリスク・対応策を説明することができる。 ④ 自立支援・介護予防を説明することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動例				
前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って授業内容を予習・復習し、自発的に自己学習ノートを作成する。課題は、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度やり始めたことは最後までやりとげることができる。				
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、多様性を持ち、いろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文書で表すことができる。				
	傾聴力	グループワークで、グループのメンバーの意見を聴き、更に自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	講義に支障をきたす行動をせず講義、グループワークが円滑に進むようにルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 一般財団法人 長寿社会開発センター 第1巻人間と社会 介護1 介護職員初任者研修テキスト編集部 参考文献: なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 介護初任者研修科目 資格との関連: 介護初任者研修資格						
学習上の助言			受講生とのルール			
配布プリントや資料は自分のノートとともに整理しておくこと。			講義中の私語は慎むこと。 欠席した場合は講義した範囲のテキストを自己ノートにまとめて提出。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	達成目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント	
筆記試験	40	①	✓	筆記試験は4択もしくは5択問題を出題する。 ① 授業内容を理解できているか確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
小テスト	20	①	✓	講義5回目と12回目に小テストを実施して判定する ① 授業内容を理解できているか確認する ② キーワードの意味と穴埋め問題を中心に出题する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
			✓	
レポート	25	①	✓	レポートは3回提出する。 1回目:高齢者体験を行い学んだこと。(5点) 2回目:事件事例の原因分析、対応を考察する。(5点) 3回目:介護観(15点) 基礎内容を理解し、自身の見解を論理的な文章で論じているか評価する ① 課題を適切に捉えているか。(2点) ② 基本概念、語句の理解をしているか。(1点) ③ 文献が活用しているか。(1点) ④ 指定した文字数であるか、誤字脱字はないか。(1点) *3回目は①～④を3倍の評価
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
			✓	
成果発表 (口頭・実技)	5	①	✓	上記レポート「介護観」の発表。 ① 他者に分かりやすく、発表できたか。 ② 質疑応答ができたか。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	受講態度 ・遅刻、欠席、学修意欲欠如が見られる場合は3点を減点する。(規律性) グループワーク ・「あいづち」「うなづき」等話を聞く姿勢ができています。(傾聴力) ・相手の意見を受け入れ、かつ自己の意見や質問ができています。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【達成目標の目安】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
介護における人間の尊厳と自立、尊厳の保持・自立支援について文献を調べそれに基づき自分の意見を述べるができる。(①) 介護職に求められる専門性と職業倫理について文献を調べそれに基づき自分の意見を述べるができる。(②) S(秀)=①+②、A(優)=①又は②	介護における人間の尊厳と自立、尊厳の保持・自立支援が説明できる。(①) 介護職に求められる専門性と職業倫理が説明できる。(②) B(良)=①+②、C(可)=①又は②

週	学習・教育内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	<ul style="list-style-type: none"> 科目「介護概論」がどのような学習内容か把握し、今後の介護の科目に生かす心構えを学びます。 人権と尊厳の保持について学びます。 	講義	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員初任者研修課程との関連が説明できる。 ・ 	(復習) <ul style="list-style-type: none"> 教科書構成を確認する。 テキスト科目1 (予習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目2 第1章 第1節～第4節 (課題) 介護に関する新聞記事を3つ探してくる。(興味を引いた理由と新聞記事をのりで貼った上で、第4回講義前にクリアファイルに入れて提出) 	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
2週 /	人権と尊厳の保持などについての考え方を学びます。	講義 前回講義内容の口頭確認、	個人の尊厳、アドボガシー、エンパワーメント、ICF、QOL、ノーマライゼーションの意味が説明できる。	(復習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目2、第1章 第1節～第4節 (予習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目2、第1章 第5～第6節 	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
3週 /	高齢者の身体的特徴を体験することで、精神・社会的側面について学びます。 * 演習ができる服装で参加して下さい。	演習(高齢者「体験モデル」を活用 前回講義内容の口頭確認	老化をイメージすることで高齢者の身体・精神・社会的特徴を説明できる。	(復習) 高齢者の特徴(配布資料) (課題) <ul style="list-style-type: none"> 高齢者体験のまとめを行い、クリアファイルに入れて次回講義前に提出。 	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4週 /	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者体験の学びを発表します。 虐待防止・身体拘束禁止、個人の権利を守る制度について学びます。 	発表、グループワーク 講義	<ul style="list-style-type: none"> 自己の学びを他社に分かりやすく伝える。他社の学びが説明できる。 から自己の学びを振り返る。 身体拘束禁止、高齢者の虐待防止法、高齢者の養護支援について説明できる。 個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業について説明ができる。 	(復習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目2 第1章 第5～6節 (予習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目2 第2章 (課題) <ul style="list-style-type: none"> 小テストは第1回～第4回の講義内容 	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを実施 自立に向けた介護について学びます。 	小テスト(筆記) 講義	自立に向けた介護、自立支援、介護予防について説明できる。	(復習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目2 第2章 (予習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目3 第1章 (課題) <ul style="list-style-type: none"> 次回小テスト 	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
6週 /	介護職の役割、専門性 と他職種との連携について学びます。	講義	介護環境の特徴、専門性 介護に関わる職種、チームケアにおける役割分担について説明できる。	(復習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目3 第1章 (予習) <ul style="list-style-type: none"> テキスト科目3 第2章 	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名:①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力

週	学習・教育内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
7週 /	介護職の職業倫理の重要性について学びます。	講義	介護の倫理、介護職としての社会責任、プライバシーの保護・尊重について説明できる。	(復習) ・テキスト科目3 第2章 (予習) ・テキスト科目3 第3章 第1節～第2節	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8週 /	介護における安全確保・自己予防安全対策について学びます。	講義	事故に結びつけ要因、対応技術、リスクマネジメントについて説明できる。	(復習) ・テキスト科目3 第3章、第1節～第2節 (課題) ・事件事例の原因分析と対策を考え、次回講義前にクリアファイルに入れて提出	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
9週 /	感染の知識について学びます。	講義	感染の原因、経路、スタンダード・プリコーションについて説明できる。	(復習・予習) ・テキスト科目3、第3章、第3節		主体性 実行力 課題発見力 規律性
10週 /	感染対策(手洗い、手袋、うがい、マスク、エプロン、洗浄と消毒、隔離)を学びます。	講義	感染対策の説明ができる。	(復習) ・次回実践できるように練習すること ・小テストは第6回～第11回までの講義内容	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
11週 / 12週 /	・小テスト ・感染対策(手洗い、手袋、マスク、エプロン、)についての実技を行います。 *演習ができる服装で参加して下さい。	演習 *一人ずつチェックします。	感染対策が実践できる。	(復習) ・テキスト科目3、第3章、第3節 (予習) ・テキスト科目3、第4章	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
13週 /	事例を通して、事故の原因、対策、事故報告書の記入方法を学びます。	講義 グループワーク 発表	事故に結びつけ要因、対応技術、リスクマネジメントを実践する。	(復習) ・グループワーク、発表を通して、再度事件事例をまとめる。 (予習) ・テキスト科目3、第3章、第3節	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	介護職の心身の健康管理について学び、自己のストレス対処方法を考えます。	講義	・介護職の心身の健康管理、ストレスマネジメントについて説明できる。 ・自己のストレス対処を考える。	(復習) ・テキスト科目3、第4章 (課題) ・次回講義前にレポートをクリアファイルに入れて最終提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	「介護概論」を通して学んできたことを再構築します。	講義 発表	・14回までの講義を振り返り、文献を用いてレポートし、分かりやすく発表する。 レポート 25点 発表 5点 社会人基礎力 10点	(次回) ・筆記試験	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
	筆記試験を行います。	筆記試験と解説	筆記試験 40点 小テスト 20点		90	主体性 実行力 規律性

能力名:①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力

⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力